

2024

3月号

まちのほけんしつ

ぽかぽか だより

2024年 2月末 発行
まちのほけんしつ
病児保育室ぽかぽか
(TEL0749-68-3216)

寒さが和らぎ、草木の新芽が萌え出はじめる頃になってきました。1月～2月初旬の長浜管内の感染症は、インフルエンザが「例年より非常に多く」報告され、増加傾向となっていました。コロナウイルス感染症も昨年末から増加傾向となっており、特に10歳未満、10歳代、70歳以上が高い水準の報告となっています。溶連菌は「例年より多く」報告されており、長浜管内では警報レベルとなっています。

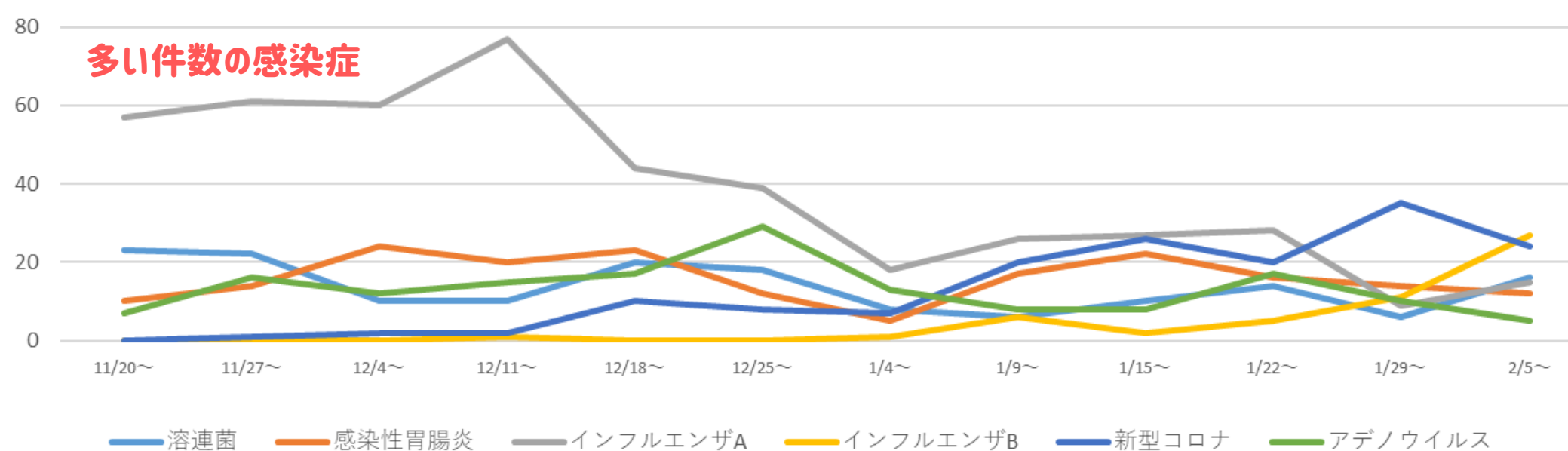
昨年はインフルエンザが早くから流行するなど、これまではあまり出現しなかった時期にも様々な感染症がでてきています。日頃から感染症の予防対策が重要です。

場面に応じたマスク着用や咳エチケット、外出後や食事前の手洗いうがいを習慣づけていきましょう。

また、栄養と休息を十分にとることも大切です。普段から体調管理に気を配り、これから来る暖かい日々を楽しく過ごせるようにしていけるとよいですね。



すこやかkidsクリニック 感染症発生状況 (11/20～2/18)



ぽかぽか から お知らせ

病児保育室ぽかぽかの紹介

利用しやすさ

2部屋保育が可能な日が増えました！今までよりも多くの方に利用していただけます！

充実した設備

年齢にあったいろいろなおもちゃや絵本、空気清浄機や室内換気モニターなどを設置し、お子さんが過ごしやすい環境を整えています。

アットホームな雰囲気

保育士、看護師等が病状や年齢に合わせて病気やケガの回復を見守ります。

スタッフからのメッセージ

お子さんが急に病気になったときでも、お仕事が休めないこともあると思います。そのような時は、『病児保育室ぽかぽか』を頼って下さい。私たちは病気のお子さんやお子さんを預けて仕事に向かわれる保護者の方のほっと安心できる、心のよりどころになりたいと思っています。



すこやかkidsクリニック くま先生より

花粉症と舌下免疫療法



春になり花粉症が増えるシーズンとなりました。今回はスギ花粉症やダニによるアレルギー性鼻炎の方におススメの治療法をご紹介します。

スギ花粉症やダニによるアレルギー性鼻炎の治療法のひとつに、アレルゲン免疫療法があります。従来のアレルギー性鼻炎の主な治療は、くしゃみや鼻詰まり、せき、目の痒みなどの、すでに発症しているアレルギー症状に対処して、それらを軽減する方法をとっていました。それに対し、アレルゲン免疫療法はアレルギーの原因となる物質（アレルゲン）を体内に投与していくことにより、アレルゲンに曝露した際にも軽微な反応に抑制するという特長があります。

少し前まではアレルゲン免疫療法は、通院でアレルゲンを含む治療薬を皮下に注射する「皮下免疫療法」が行われていましたが、近年登場したのが、治療薬を舌の下に投与する「舌下免疫療法」です。

※スギ花粉症またはダニによるアレルギー性鼻炎と確定診断された患者さんが治療を受けることができます。



舌下免疫療法

メリット

- ・飲むお薬
- ・自宅で治療ができる
- ・アレルギー症状の軽減
- ・健康保険・福祉医療費助成制度（マルフク）適応

デメリット

- ・5歳未満は対象外。
- ・毎日1回内服。月1回程度の通院が必要
- ・スギ花粉の舌下免疫は開始時期が限られる。スギが飛散していない時期にしか始められない

治療は3～5年続きます。お子さんが学校や部活動で忙しくなる前に治療が終われるタイミングがおすすめ



すこやかKidsクリニックではオンライン診察やリフィル処方箋を導入し、通院の負担軽減を図っています



予防接種のおはなし



令和6年4月から「5種混合ワクチン」「沈降15価肺炎球菌結合ワクチン（PCV15）」が定期接種に追加されます。

5種混合ワクチン

4種混合ワクチン（ジフテリア、百日ぜき、破傷風、ポリオ）とHibワクチンが1つのワクチンになりました。

令和5年に製薬会社2社（阪大微研、KMバイオロジクス）の5種混合が薬事承認されました。現行のワクチンと比較して有効性・安全性が同等であることも証明されています。

注射の本数が減るのでお子さんの負担も軽くなるね！

沈降15価肺炎球菌結合ワクチン(PCV15)

肺炎球菌は細菌性髄膜炎、菌血症、重症肺炎など命に関わる重い感染症を引き起こす細菌です。93種類の血清型から子どもたちに重い病気を起こすことが多い型（種類）を選んでワクチンが作られています。日本でも、このワクチンの普及に伴いワクチンで予防できる肺炎球菌による重い感染症が減少してきています。

今まで13種類（PCV13）のワクチンが主でしたが、15種類（PCV15）のワクチンが小児も適応となり令和6年4月から定期接種のワクチンとなります。血清型が増えることで、今のワクチンを上回る有効性が期待されています。



4月までに4種混合やヒブ・肺炎球菌の接種時期がくるお子さんへ

新しいワクチンを待つ間に感染症にかかるリスクがありますので、4月まで待つことはせずに、今までのワクチンを推奨時期に接種しましょう

